

第6回（H29.7.3）新文化ホール整備審議会のふりかえり

1. 運営管理予定事業者の紹介

株式会社キョードーファクトリーの紹介など

2. 新文化ホールの要求水準について

- 要求水準書で水準を出すと、施工側はその水準以上のものは出さないで、性能など外せないところは書き切る、他にも解決方法があるときは書き切らない、代替案があるのかないのかで書き方を検討する必要がある。また、要求水準にはあえて書かずに提案に任せるけれども、「こういう風になってもらわなくては困る」ということは、基本方針で書くようにすべき。基本方針に、私たちが目指すホールへの思いをもっと盛り込むべきである。
- 搬入口に関してなど、細かく詰める必要のある部分もあるが、全体の書き振りとしては、このくらいで妥当ではないかと思う。
- （特に小ホールについて）多世代、特に高齢者も使いやすい、また使いたいと思える温かい、血の通ったホールにしたい。
- 資料5でコントラバスについての記述があるが、他にもティンパニーなどの大きな物を搬入する場合についても搬入口、搬入経路について考慮が必要である。
- 設備の要求水準とは別の話だが、スタッフの人的な質の高さが重要。また、利用者と管理者との関係性も非常に重要である。
- 多目的ホールイコール無目的ホールにならないようにすべきである。
- （小ホールは）音楽・演劇のどちらかに特化しないで、設計や設備を工夫して、どちらもそこそこ両立できるようにすべきである。
- 写真などで小ホールの具体的な施設の例を見て、イメージの統一を図りたい。
- 託児所・保育所・宿泊施設に関しては、ホールの整備事業としては不可であるが、周辺の事業との連携の中でそういった機能を確保できるようにしてほしい。
- 動線計画が非常に重要なので、もう少しはっきり書いた方が良いと思う。

3. 類似施設の視察について

7月13日(木)及び7月18日(火)のいずれかの日程でご参加いただきたい。
視察対象は(株)キョードーファクトリーが指定管理・運営している以下の施設。
「かつしかシンフォニーヒルズ」「かめありリリオホール」

4. 次回日程について

7月27日午前10時から、中央生涯学習センター3階講座室で行う。